

象牙・皮セミナー

和楽器の響きを次世代に伝えるために

このセミナーは、演奏家による三味線実演を交えながら、邦楽が直面している楽器素材の問題について、関係者相互に情報を共有し、また一般の人々へもそれを発信しようというものです。それは、動植物など地球上の自然遺産と、人類が築き上げてきた文化遺産とのかかわりを考えることでもあり、象牙の問題だけでなく、同様に深刻な三味線の皮の問題も組み込んだプログラムといたしました。

主催するのは一昨年来、演奏家、楽器商、音楽学・材料工学の研究者などが協力し、職種や専門分野を越えて象牙の問題に取り組んできた「象牙のことを知り考える会」が、発展的に改名した「和楽器の響きを次世代に伝える会」と邦楽ジャーナルです。

2016年

4月2日(土) 13:00~17:00 (12:30 開場)

芸能花伝舎 C2 (東京都新宿区西新宿 6-12-30)

一般 1,000 円、学生 500 円 (学生証をご提示ください)

[内容]

- ・ 長唄三味線と地歌三味線の音の違い
- ・ バチ・皮を中心とした三味線の歴史について
- ・ 野生ゾウと象牙の現状・未来、これまでの自然保護団体のあり方について
- ・ 三味線の皮の現状とこれからについて
- ・ 象牙新素材の開発進捗状況
- ・ 皮新素材の発表(カンガルー皮、リプル)
- ・ 演奏家に聞く: 象牙のバチ、犬・猫の皮がなぜ良いのか。現状と今後のことをどのように考えているか…聞き手=薦田治子 (武蔵野音楽大学教授)

[講演者] (五十音順)

今藤政太郎 (長唄三味線演奏家・人間国宝)、大槻主税 (名古屋大学大学院工学研究科教授)、
杵屋佐吉 (長唄三味線方)、小松英雄 (小松屋代表取締役)、田中隆文 (邦楽ジャーナル編集長)、
富山清琴 (地歌箏曲演奏家・人間国宝)、西原智昭 (WCSコンゴ共和国自然環境保全技術顧問)、
野川美穂子 (東京藝術大学講師)、芳村伊十治郎 (長唄三味線方・邦楽器音響研究会)、
米川敏子 (地歌箏曲演奏家)

[コメンテーター]

安倍昭恵総理大臣夫人

- 司会: 織田麻有佐 (邦楽ジャーナル)

[主催] 和楽器の響きを次世代に伝える会、(有)邦楽ジャーナル

[後援] (NPO) アフリカ日本協議会、(一社) 長唄協会、(公社) 日本三曲協会、
(公財) 日本伝統文化振興財団 (五十音順)

- お問合せ: 邦楽ジャーナル内「和楽器の響きを次世代に伝える会」 ☎ 03-3360-1329